

当社のサステナビリティに関する重要性のあるリスク及び機会は、3つの経営の最重要課題（マテリアリティ）に対応しており、それぞれの内容、事業への影響、対応策について、以下の表のとおり整理を行いました。

◎…大きく関係する事業、○…関係する事業

経営の最重要課題	リスク or 機会	時間軸 (注3)	直接の影響	リスク予防策 機会実現策	郵政グループとしての 信頼・評判への 影響	郵便・物流事業	国際物流事業	郵便局窓口事業	物販事業	不動産事業	銀行業・生命保険業	病院事業
①<地域> 地域インフラ、生活サポート拠点としての役割を発揮	機 会 荷主のGHG排出量の削減	短～長		低炭素サービス提供	新たな顧客の獲得	◎	○					
	地域生活インフラ機能、施設活用	短～長	サービス提供等による対価獲得	受託・協業、施設改修等	郵便局の集客増イメージ向上	○		◎		○		
②<人> ニーズやライフステージに応じて暮らしを支えるサービスを提供	機 会 Eシカル商品の販売	短～長	顧客の獲得	Eシカル商品開発	サービスの好評				◎			
	顧客のデジタル化志向	短～長	顧客の維持・新規開拓	高利便性サービス開発	サービス利用の浸透	○		◎			◎	
	金融包摂	中～長	新たな収益機会	新たなサービス提供	好評の獲得			◎			◎	
③<信頼> 地域・お客さまからの「信頼」の基盤を強化	リ ス ク 自然災害の激甚化・頻発（物理的リスク）	短～長	施設の被災、事業中断	施設の改修・移転・復旧		◎	◎	◎	○	○	○	○
	規制導入、排出削減のための投資、環境価値購入（移行リスク）	短～長	投資コスト増、環境価値の価格高騰	排出削減策の実施（EV導入、LED化等）	顧客の離反	◎	◎	○	○	○	○	○
	従業員の労働条件・職場環境と人的資本	短～長	離職率増加（補充コストの増加）		採用困難による人材の質の低下	◎	○	◎	○	○	○	○
	重大な交通事故・労災	短～長	損害賠償、行政処分	安全対策、健康管理	信頼の毀損	◎	○			○		
	サプライチェーン上の人権（委託先含む）	短～長	顧客の離反	サプライヤー調査	イメージ低下	◎	◎		○	○		
	顧客保護（不適切営業）	短～長	損害賠償、行政処分	お客さま本位の営業	信頼の毀損			◎			◎	
	顧客情報保護、情報セキュリティ	短～長	顧客の損害補償業務混乱	システム対策 従業員教育・研修	信頼の毀損			◎			◎	
	国際規範（贈収賄）	短～長	ペナルティへの対応、損害補償	組織体制の構築 従業員教育・研修	信頼の毀損	◎	◎			◎		
	国際規範（マネロン等）	短～長	ペナルティへの対応、損害補償	組織体制の構築 従業員教育・研修	信頼の毀損			◎			◎	

- (注) 1. 「郵便・物流事業」「国際物流事業」「郵便局窓口事業」「不動産事業」「銀行業」「生命保険業」は、[第21期有価証券報告書](#) 3 事業の内容 (1) 当社グループの事業の内容における①から⑥までの事業をそれぞれ指しております。「物販事業」は、②郵便局窓口事業の中の(d)物販事業を指しており、上記の「郵便局窓口事業」はこれを除いたものを指しております。また、「病院事業」は、⑦その他の事業の中で当社グループの信頼・評判に与える影響が比較的大きい(b)病院事業を指しております。
2. 時間軸は、短期（1年以内）、中期（3年以内）、長期（3年以上）で区分しております。